



小嶋 克文 議員

高齢者の移動手段について

問 全国各地で高齢ドライバーのアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が相次いでいる。本市における急発進を防ぐ装置の取り付け費用の支援は。

答 令和2年度から「後付急発進等抑制装置」の設置費に対する補助制度の検討を進めている。

問 近隣市の実施状況は。

答 碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、みよし市は、本年12月より実施。岡崎市、西尾市、知立市、幸田町は、令和2年度の実施に向けて検討している。

問 補助制度の内容は。

答 対象者は70歳以上、補助限度額は6万円。西三河9市1町で統一的に取組みを進めている。

防災対策について

問 ハザードマップ等の防災情報を、身近な情

報として何時でもスマートフォンで検索できるアプリ化について。

答 ワンプッシュで災害リスクや避難所などの防災情報の確認が可能。アプリ化により、若い世代にも、これまで以上に防災に関心をもっていただくきっかけにもなる。防災マップのアプリ化については、調査・研究を進めていく必要があると考えている。

問 台風などの災害から家族を守るためには、家族の避難行動を明確にするマイ・タイムライン等の作成も防災対策の一つである。本市に適した、独自のマイ・タイムラインの作成は。

答 地域防災リーダーの養成など、地域防災の推進に協働で取り組んでいるNPO法人とも連携を図りながら、マイ・タイムラインの作成に必要な、本市の実情に即した各種情報を取りまとめ、ひな形の作成等を進めていく。

※**問** 「マイ・タイムライン」とは。

各人（世帯）で、災害が起きると予想される時刻に向かって、どのタイミングで、誰が何をするか、あらかじめ防災スケジュールを決めて表などにするもので、天気予報を参考にすることができ、豪雨災害、特に台風に有効。



黒川 美克 議員

高浜市公共施設のあり方計画について

勤労青少年ホーム跡地発生土運搬処理について

問 今回の処理方法は中間処理施設で分別処理し、原料にならないものは最終処分場に出すが、再生利用可

能なものはセメント原料として焼却焼成処理するという、この答弁に変わりないか。

答 再生利用可能なものはセメント原料として焼却焼成処理を行い、処理できないものは最終処分場に出すという答弁のとおりである。

問 業者の負担金精算金額が1億6,070万4,000円、実績量が5,354.08トンで、協定書との差額が4,180万6,800円とのことだが、差額の内訳は。

答 この件は、住民監査請求の中で協定書と負担金の中身について、今、調査中ですので、答弁は差し控える。

問 最終的な掘削土量と、中間処理した数量と、

最終処分場へ処理した数量はどれだけか。

答 先ほども答弁したが、住民監査請求のこともあり、答弁は差し控える。

問 中間処理場へどれだけ持っていったか、最終処分場へどれだけ持っていったかを聞いているが、なぜ答えられないか。

答 委託分は監査請求の対象ではないので、お答えしたいと思うが、負担金部分については差し控えたい。

問 いただいたマニフェストでは、中間処理場へ搬出した数量が5,534.08トンという数字が載っているが、この数字で間違いはないか。

答 資料で出した数字という点では、そのとおりである。

問 中間処理場への搬出数量は5,534.08トンだが、業者がテニスコートに仮置きした数量は。

答 体積は測っていない。

問 残渣が出て、全部が中間処理で使えないから、それを最終処分場へ持っていくと答えているが、確認しているのか。

答 720立米で委託したものは、二次マニフェストで確認している。負担金のものは、協定書にある内容で確認している。